



花かつみの里 2024



No. 35

12月に実施した行事等を紹介します。

遅くなってしまいましたが、12月に実施した主な行事等を紹介いたします。



12月11日(水)「サッカー教室」(3~6年生)



12月12日(木)・13日(金)「書きぞめ教室」(3~6年生)



12月17日(火)「箏教室」(4・5年生)



12月19日(木)「ダンス教室」(1・2年生)

(校長の子どもの頃の実話)

こんな夢をみました！



今回も私が子どもの頃の話です。

子どもの頃の私は、「仮面ライダー少年隊」(学校だより No. 9 参照)に入っていました。実はウルトラマンが好きでした。

「ウルトラマンになりたい」とずっと思っていました。

ある日、私は次のような夢を見ました。

自分が住む街に、突然、**怪獣**が現れました。怪獣がビルを壊しています。

このままでは、街中が怪獣に破壊されてしまいます。



人々は、悲鳴をあげながら逃げています。私も、逃げなくてはなりません。

しかし、逃げてはならないのです。

なぜなら、私はウルトラマンだからです。

ウルトラマンに変身して怪獣と戦い、人々を守らなくてはならない**使命**があるのです。

でも、今回の怪獣はとて**も強**そうです。

体も大きく、**こわい顔**をしています。

勝てる自信がありません。

もしかしたら、**命の危険**があるかもしれません。



たぶん、このまま黙って逃げても、私がウルトラマンだとは誰も気づきません。

「そうだ、自分だけが怖い思いをすることはないんだ。逃げるんだ。」

弱い自分が、話しかけます。

しかし、「ウルトラマン早く来て。」と叫んで、助けを求めている人がいます。

「お前の**使命**は何なんだ。世界の平和を守ることではないか！」

もう一人の自分が叫んでいます。

「私は、どうすればいいんだろう」**悩みに悩み**ました。



そして、朝がきて目が覚めました。

私が学級担任をしていた時に、この話(ネタ)を子どもたちによく話していました。

「自分だったらどうするか」(逃げる? 戦う?)を討論させたこともありました。

今では懐かしい話です。

私はウルトラマンにはなれませんでした。が、校長として片平小学校の子どもたちの安全を守っていきたくと思います。

